

(3) 第3回の概要

分類		主な内容
緑	アイストップとなる樹木	<ul style="list-style-type: none"> 現在アイストップに配置する候補として挙げられている樹種（エンジュ、オリーブ、ハナミズキ、ヒトツバタゴ、モクレン）は、<u>花が咲くインパクトはあるが、一本立ちだとボリュームがなく、街路樹などで使われる樹種であり、線として植えることで見栄えのする樹種である。</u> 花木は周辺がすごく落ち着いた、例えばヨーロッパの街並みであるとか、グレイッシュな街に花が咲くととても目立つが、<u>蒲田の駅前周辺では多様な色で溢れており、花が目立つのは厳しいと思う。</u> 現況の広場南側のクスノキ周辺の花壇がなくなるため、花を補う意味で新たに場に花の咲く木を植えることはよいと思うが、<u>駅前広場を囲む建物壁面や看板等に原色や濃い色が多く使われており、視覚的効果が出にくい場所である。</u> アイストップになる樹木の選定の考え方としては、<u>花だけではなく、もう少し大きな樹木で常緑樹でも形で存在感があるとか、色んな選択肢があると思う。今後の設計段階でよく検討した方がよい。</u> 樹木に咲く花は年に一回だけで一時期であるため、プランターのようなバスケットを吊るすなどすると、サインや吊り広告などと合わせて多様なものをぶら下げることが出来る。
舗装の色彩	駅前全体について	<ul style="list-style-type: none"> 西口駅前広場検討部会にて案を選定する際に人気が2案に分かれたため、本デザイン基本プランでは最終的にこの2案ベースにしたとのことだが、いずれの案にも魅力があり、理解できる結果である。使われている舗装材の色彩から、A：格子のデザイン案（下図左）は落ち着いた雰囲気となり、B：円形デザイン案（下図右）は、<u>明度の高い色がシンボルツリーの周りに広がっているため、明るい雰囲気になり、両案ともに使用している色が非常にベーシックなので、どちらになっても問題はないと思う。</u> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>A：格子デザイン 「暖かみ」「落ち着いた・風格」 を重視した案</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>B：円形デザイン 「明るさ」「広場の」 を重視した案</p>  </div> </div>
喫煙所	配置について	<ul style="list-style-type: none"> 本デザイン基本プランは初動期整備を対象にしたものであるが、交通島の喫煙所の位置については、西口駅前広場検討部会でも意見が出ているため、<u>駅前広場の中・長期整備の検討を行う中で、交通機能の再配置などと合わせて喫煙所の対応についても継続検討していった方がいい。</u>
サイン	基本デザイン	<ul style="list-style-type: none"> サインは視認性が高く、ユニバーサルデザインなど誰が見ても分かりやすい機能がある事が重要である。 サインは街のイメージを決めるものであり、地域イメージとサインのデザインが連続するよう、親しみやすい色味がいいと考える。 色は単独で存在するのではなく、<u>周囲の環境を考えるのも重要。</u>サンライズ商店街やドン・キホーテなど原色調の外観やサインなどが溢れている環境、エリアの中でサインを配置することを念頭にデザインや色彩を考えると良い。大森とかは海に近いので、海の色のブルーとかグレイ等のイメージで統一している。一方で、田園調布などはまた全然違ったイメージだと思う。地域性で色味は変えていくべきだと思う。 ダークグレー、ダークブラウン等の濃い色彩を用い、周囲の看板などの彩度が高い色彩とのコントラストをつけ、視認性を高めることが望ましい。<u>濃い色彩を地色に使うことで、白い文字が見やすくなり、ユニバーサルデザインへの配慮にもなる。</u>ユニバーサルデザインと地域イメージとの連続性の両立が可能である。 好みでどうしても言われがちな世界なので、なぜそうなのかという理由をある程度整理し、その中でどれが一番いいのかという様に議論した方がいい。
その他	サイン計画の運用例	<ul style="list-style-type: none"> 色については地域性みたいのがあると思う。横浜方式のような、一定の区全体の統一的なガイドライン、それに基づいて地域のサインをどうするか、その辺のサイン整備計画の検討、整理も重要だと思う。 例：横浜市はゾーンごとに、エリアのアイデンティティに合う色彩やデザインを決め、それに即したサインを設置。サインの設置に際して、都市デザイン室の監修が入ったうえで実施しているため、統一感が保たれている。
	駅前広場の注意看板	<ul style="list-style-type: none"> 蒲田駅西口では、ポイ捨てや路上喫煙等のマナーに関する注意看板が多い傾向がある。サインによる注意喚起に頼らず、設計で解決できるのが望ましい。根本的な問題を解決しないと、一度撤去しても再度同じような看板が出てきてしまうのでは。 注意看板の内容によって色の使い方を決めると、よりわかりやすくなる。一般論として、赤は「禁止」、黄は「注意」、青は「肯定」の意味を持っている。 現実的に、掲出される注意看板に対処するため、看板を出す際のデザインのルールを考えるべきである。

4 西口駅前広場検討部会の意見集約

(4) 第4回 西口駅前広場検討部会での主な意見

分類	意見要旨	区の考え方
全体イメージ	<p>①全体的にまとまってきた。方向性としてはこれでいいと思う。駅前広場はスペースが限られているので、これ以上の置き込みなどは無理だと思う。</p> <p>②設計にあたっては実際に現場に行ってお話を確認する機会があった方がいいと思う。</p> <p>③一度に工事は出来ないと思うので、具体的な工期を決めて早く進めて欲しい。</p> <p>④看板や放置自転車など、駅前に物を置かないということをバリアフリーの視点から徹底する運動を地元からも起こしてはどうか。</p>	<p>●今回のデザイン基本プランのたたき台をブラッシュアップし確定させていきます。</p> <p>●材質などの詳細については、設計段階で意見反映しながら進めていきます。</p> <p>●ソフト対策も重要と認識しており、地元と連携して取り組みます。</p>
歩行者空間	<p>①バス乗車場・降車場の歩道が狭く、歩行者の通行に支障がある。特に駅街路3号線のバス降車場付近は、障害者の方が本当に通れない。根本的な問題であるので改善して欲しい。</p> <p>②北側ドン・キホーテ前の低木の植栽撤去は良いと思う。駅に行くときの歩行者動線が短くなってありがたい。</p>	<p>●バス乗車場・降車場付近の歩道の狭さは認識しています。バス・タクシーの交通施設の再配置や歩道幅員確保については中・長期整備の中で検討を行う予定です。</p>
舗装材 (色調・材料)	<p>①デザインと色調は、資料にある3案に基づいて、みなさんと協力して決めていけばよい。</p> <p>②舗装のデザインは「A1：格子に暖色と無彩色の併用(9ページ)」のデザインがいいと思う。</p> <p>③「B1：円形のデザインに暖色と無彩色の併用(11ページ)」のデザインは、駅前広場の広がりを感じられて良いと思う。</p> <p>④照明が明るくなれば舗装材は暗くてもいいと思う。</p>	<p>●デザイン基本プランでは、A1とB1案をデザインの方向性と示します。実際のデザイン・色調は、設計の段階で、照明やサイン、緑のバランスも勘案し、地元の方たちの意見も踏まえて決めていきます。</p> <p>●照度については、駅前広場という場所を考慮した照明計画とします。</p>
交通島 (喫煙所)	<p>①駅前広場のメインとなる交通島に、景観上からも喫煙所の設置は再考するべき。例えば、駅ビル北側の道路側の方に喫煙所を置いてはどうか。</p> <p>②ほかに適当な場所がないということなので、交通島の喫煙所をどうやってうまく整備を行うか考えるしかないと思う。パネルで囲うのではなく、植栽が何かで見栄えが良いようにすることも考えられる。</p> <p>③逆に喫煙しているところが周りから目立つように整備し、喫煙しづらい喫煙所にしたいと思う。</p> <p>④喫煙所のゴミは多い。地元では、第一・第三土曜日の朝8時から掃除をしている。</p> <p>⑤安全安心のまちづくりという面で、交通島に交番を置くべきだと思う。</p>	<p>●当初、駅前広場は全面禁煙でしたが、議会陳情で喫煙所設置要望が採択され、地元との意見調整により現在の交通島内に設置しています。駅ビル北側については、施設等の影響で設置ができません。</p> <p>●設置場所は交通島とし、具体的な整備内容については、設計の中で検討します。</p> <p>●地元の皆さんとも連携して、清潔なまちを維持するためのソフト対策の取り組みも重要と考えます。</p>
放置自転車への対策	<p>①北側の植栽帯を撤去したところも、自転車が置きやすくなると思うので、放置禁止を徹底して欲しい。</p> <p>②自転車置場について、これだけきれいにしても自転車を置かれたら同じではないか。</p> <p>③自転車の放置など解決できる問題は、この際に解決して欲しい。</p> <p>④放置自転車対策については、今の施策ではなかなか無くならないので、別の観点からの取り組みが必要だと思う。</p>	<p>●サイン整備のひとつとして、景観にも考慮して自転車放置禁止案内を最小限で効果的な場所に設置する予定です。</p> <p>●駅前空間の環境を維持するためにも、整備後の自転車利用マナーの啓発や放置自転車対策を強化する必要があると考えます。</p>
その他	<p>①西口はサイン整備の基本計画を検討しているとのことだが、駅周辺のサインは、東西で統一してやって欲しい。蒲田の東口・西口のサインについては、連絡会議などを開催して連携を図っていくのか。</p>	<p>●サイン整備の具体化にあたっては、「大田区サイン基本計画」などを踏まえた整備とするため、別途検討を進めているところです。蒲田駅東西地区のサイン整備は、統一すべきところは統一し、地域の特徴も考慮したデザインを考えてまいります。</p> <p>●今回の検討では、大田区のサイン整備ガイドライン策定につながる整備計画としてまとめる予定です。</p>

4 西口駅前広場検討部会の意見集約

(5) 第5回 西口駅前広場検討部会での主な意見

分類	意見要旨	区の考え方
全体イメージ	①具体的にまとまった良い案だと思う。 ②ようやく具体的な話になって来たので、早期着工、早期完成を目指してほしい。	●来年度は、詳細設計を行い、まず、交通島部分の早期着工を目指しております。 ●駅前広場を利用しながら工事を進めていくので、工区を分けて施工していきますが、早期完成を目指します。
舗装材 (色調・デザイン)	①舗装パターンはどの案でも基本的には賛成である。 ②舗装デザインは円形がすっきりしていると思う。 ③舗装デザインは、有楽町のような円形だと、円に沿って歩くのか、動線がわかりにくい印象がある。動線に考慮したデザインの方がいいのではないかと。 ④タイルの色はたくさんの方が使う駅前広場なので、汚れが目立たないようなグレー系がいいと思う。 ⑤駅前広場の色彩は明るいものの方がいいと思う。	●詳細設計の中で、地元の皆様からのご意見、景観アドバイザーからのアドバイスを伺いながら、色調、デザインを検討していきます。
交通島 (喫煙所)	①喫煙所を設置するのなら、現状では交通島でやむを得ないと思う。 ②喫煙所を、透明のパネルや植栽で囲むのはいい案だと思う。 ③喫煙所はデザインやランドスケープの専門家の意見を聞いて、皆さんが納得できるようなものにしてほしい。 ④喫煙所は受動喫煙の影響がなるべく少なくなるように工夫してほしい。 ⑤喫煙所の夜間の安全に不安がある。鍵をかけるとか、防犯対策をしっかりとしてほしい。 ⑥マナー向上の啓発と管理をきちんとしてほしい。 ⑦西口の駅前が一番目立つ交通島に喫煙所を設置するのが良いことなのか疑問がある。 ⑧交番を交通島に作ってほしい。 ⑨鳥のフン害がひどいので、考慮してほしい。	●今回の整備での設置場所は交通島とし、具体的な整備内容については、今後、詳細設計の中で検討を続けてまいります。 ●将来の喫煙所の扱いについては、喫煙マナーの状況などを踏まえて、設置の是非や設置場所など、中・長期整備の検討の中で対応します。 ●快適な駅前空間を維持するためにも、運営面につきましても地元の皆様からのご意見を頂き、今後、検討していきます。 ●マナー向上や防犯対策につきましては、地元の皆さんとも連携して、清潔なまちを維持するためのソフト対策の取り組みも重要と考えます。